

業績目録（令和3年）

大学院科目名 小児外科学

(A-a) 英文著書

1. Tajiri T, Furukawa T: In:Nio M. (eds) Introduction to Biliary Atresia. Springer, Singapore. pp209-215, 2021.

(A-b) 和文著書

1. 文野誠久：疾患別ガイド 神経芽腫（NB）. JCCG長期フォローアップガイドライン作成ワーキンググループ編 小児がん治療後の長期フォローアップガイド. 東京：クリニコ出版, pp175-185, 2021

(B-a) 英文総説

無し

(B-b) 和文総説

1. 文野誠久, 永藪和也, 田尻達郎：【これでわかる 婦人科稀少腫瘍】 卵巣腫瘍 卵黄嚢腫瘍. 産科と婦人科, 88 : 212-216, 2021.
2. 田尻達郎：【小児外科をめぐるさまざまな問題と将来の展望】 With and After COVID-19時代の小児外科. 小児外科, 53 ; 102-105, 2021.
3. 古川泰三：【早期発見！搬送・紹介のタイミングもわかる 新生児の外科疾患 10】 腹壁疾患（腹壁破裂・臍帯ヘルニア）. 赤ちゃんを守る医療者の専門誌 with NEO, 34 : 102-105, 2021.
4. 青井重善, 田尻達郎：【小児外科疾患における公費負担医療の種類と申請方法】 小児慢性特定疾病と指定難病. 小児外科, 53 ; 257-260, 2021.
5. 文野誠久, 田尻達郎：【小児外科疾患における公費負担医療の種類と申請方法】 仙尾部奇形腫. 小児外科, 53 ; 286-289, 2021.
6. 文野誠久：【周産期の周辺を強化する-プレコンセプションケアと産後ケアの充実に向けて】 他科と連携したプレコンセプションケアと産後ケア 内科医/小児科医との連携 移行期医療への対応 小児外科疾患. 周産期医学, 51 : 611-614, 2021.
7. 文野誠久, 高山勝平, 田尻達郎：【シミュレーションとナビゲーション】 小児がん（リンパ管奇形を含む）. 小児外科, 53 : 554-558, 2021.

8. 文野誠久, 田尻達郎:【局所進行癌に対する集学的治療】局所進行性小児固形がんに対する集学的治療. 京府医大誌, 130: 375-382, 2021.
9. 高山勝平, 文野誠久, 田尻達郎:【消化管重複症のすべて】胆嚢, 胆管. 小児外科, 53: 961-964, 2021.
10. 田尻達郎, 田中智子, 文野誠久:小児外科医による小児がんに対するトランスレーショナルリサーチ. 福岡医学雑誌, 112: 209-219, 2021.

(C-a) 英文原著

1. Tanaka T, Togashi Y, Takeuchi Y, Higashi M, Fumino S, Tajiri T: Immunohistochemical staining of phosphorylated ERK in post chemotherapeutic samples is a potential predictor of the prognosis of neuroblastoma. *Pediatr Surg Int*, 37: 287-291, 2021. (IF= 1.827)
2. Togashi T, Tanaka T, Takemoto M, Takeuchi Y, Higashi M, Fumino S, Tajiri T: Anti-relapse effect of trametinib on a local minimal residual disease neuroblastoma mouse model. *J Pediatr Surg*, 56: 1233-1239, 2021. (IF= 2.545)
3. Takemoto M, Tanaka T, Tsuji R, Togashi Y, Higashi M, Fumino S, Tajiri T: The synergistic antitumor effect of combination therapy with a MEK inhibitor and YAP inhibitor on pERK-positive neuroblastoma. *Biochem Biophys Res Commun*, 570: 41-46, 2021. (IF= 3.575)
4. Fuyuki M, Usui N, Taguchi T, Hayakawa M, Masumoto K, Kanamori Y, Amari S, Yamoto M, Urushihara N, Inamura N, Yokoi A, Okawada M, Okazaki T, Toyoshima K, Furukawa T, Terui K, Ohfuji S, Tazuke Y, Uchida K, Okuyama H; Japanese Congenital Diaphragmatic Hernia Study Group: Prognosis of conventional vs. high-frequency ventilation for congenital diaphragmatic hernia: a retrospective cohort study. *J Perinatol*, 41: 814-823, 2021. (IF= 2.521)
5. Okawada M, Ohfuji S, Yamoto M, Urushihara N, Terui K, Nagata K, Taguchi T, Hayakawa M, Amari S, Masumoto K, Okazaki T, Inamura N, Toyoshima K, Inoue M, Furukawa T, Yokoi A, Kanamori Y, Usui N, Tazuke Y, Saka R, Okuyama H; Japanese Congenital Diaphragmatic Hernia Study Group: Thoracoscopic repair of congenital diaphragmatic hernia in neonates: findings of a multicenter study in Japan. *Surg Today*, 51: 1694-1702, 2021. (IF= 2.549)
6. Kawanishi Y, Endo M, Fujii M, Masuda T, Usui N, Nagata K, Terui K, Hayakawa M, Amari S, Masumoto K, Okazaki T, Inamura N, Urushihara N,

- Toyoshima K, Uchida K, Furukawa T, Okawada M, Yokoi A, Taguchi T, Okuyama H: Optimal timing of delivery for pregnancies with prenatally diagnosed congenital diaphragmatic hernia: a propensity-score analysis using the inverse probability of treatment weighting. *J Perinatol*, 41: 1893-1900, 2021. (IF= 2.521)
7. Yamoto M, Ohfuji S, Urushihara N, Terui K, Nagata K, Taguchi T, Hayakawa M, Amari S, Masumoto K, Okazaki T, Inamura N, Toyoshima K, Uchida K, Furukawa T, Okawada M, Yokoi A, Kanamori Y, Usui N, Tazuke Y, Saka R, Okuyama H; Japanese Congenital Diaphragmatic Hernia Study Group: Optimal timing of surgery in infants with prenatally diagnosed isolated left-sided congenital diaphragmatic hernia: a multicenter, cohort study in Japan. *Surg Today*, 51: 880-890, 2021. (IF= 2.549)
 8. Terui K, Furukawa T, Nagata K, Hayakawa M, Okuyama H, Amari S, Yokoi A, Masumoto K, Yamoto M, Okazaki T, Inamura N, Toyoshima K, Uchida K, Okawada M, Sato Y, Usui N: Best pre-ductal PaO₂ prior to extracorporeal membrane oxygenation as predictor of mortality in patients with congenital diaphragmatic hernia: a retrospective analysis of a Japanese database. *Pediatr Surg Int*, 37: 1667-1673, 2021. (IF= 1.827)
 9. Kawano T, Souzaki R, Sumida W, Shimojima N, Hishiki T, Kinoshita Y, Uchida H, Tajiri T, Yoneda A, Oue T, Kuroda T, Hirobe S, Koshinaga T, Hiyama E, Nio M, Inomata Y, Taguchi T, Ieiri S: Current thoracoscopic approach for mediastinal neuroblastoma in Japan—results from nationwide multicenter survey. *Pediatr Surg Int*, 37: 1651-1658, 2021. (IF= 1.827)

(C-b) 和文原著

1. 山師幸大, 古川泰三, 竹内雄毅, 坂井宏平, 東 真弓, 文野誠久, 青井重善, 田尻達郎: 腹部コンパートメント症候群を合併したため緊急手術を要した慢性機能性便秘証の1例. *日小外会誌*, 57: 656-662, 2021.
2. 長野心太, 古川泰三, 竹本正和, 竹内雄毅, 坂井宏平, 東 真弓, 文野誠久, 青井重善, 小西英幸, 田尻達郎: 十二指腸重複症に対する嚢胞切開術後に Stent-Stone Complex による腸閉塞を発症した1例. *日小外会誌*, 57: 656-662, 2021.

3. 長野心太, 久保田良浩, 三村和哉, 松本豪志, 高岸智子, 下松谷匠: 上部消化管閉塞をきたした特殊型の腸回転異常症に対し, 腹腔鏡下に手術しえた小児例. 日鏡外会誌, 26: 358-365, 2021.
4. 小西 快, 青井重善, 山師幸大, 長野心太, 坂井宏平, 東 真弓, 文野誠久, 古川泰三, 田尻達郎: 回盲弁を温存しかつ完全に切除し得た回盲部腸管重複症の2例. 日小外会誌, 57: 1066-1070, 2021.

(D) 学会発表

I) 特別講演、教育講演等

1. 田尻達郎: 巨大後腹膜奇形腫の手術戦略【特別講演】. 第121回日本外科学会定期学術集会, 2021年4月9日; Web.
2. 田尻達郎: 日本小児外科学会の現況と課題【理事長講演】. 第58回日本小児外科学会学術集会, 2021年4月28日; 神奈川 (ハイブリッド).
3. 田尻達郎: 仙尾部奇形腫の治療戦略【教育講演】. 第57回日本周産期・新生児医学会学術集会, 2021年7月11日; 宮崎.
4. 文野誠久: 胚細胞腫瘍【教育講演】. 小児外科第36回卒後教育セミナー, 2021年5月1日; Web.

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

1. 文野誠久, 古川泰三, 青井重善, 坂井宏平, 富樫佑一, 坂野慎哉, 浅野麻衣, 本郷文弥, 田尻達郎: 小児期に診断された多発性内分泌腺腫症 MEN2B における小児外科医の包括的役割と領域横断的治療戦略【外科学再興シンポジウム; 遺伝性腫瘍に対する包括的な取り組みと問題点】. 第121回日本外科学会定期学術集会, 2021年4月10日; Web.
2. 高山勝平, 文野誠久, 坂井宏平, 東 真弓, 青井重善, 古川泰三, 田尻達郎: 小児領域における術中イメージングとナビゲーション【シンポジウム; 小児領域における術中イメージングとナビゲーション】. 第121回日本外科学会定期学術集会, 2021年4月9日; Web.
3. 古川泰三, 坂井宏平, 東 真弓, 文野誠久, 青井重善, 田尻達郎: 小児外科疾患手術における他科との合同手術戦略【ワークショップ; 小児領域における他診療科との合同手術】. 第121回日本外科学会定期学術集会, 2021年4月10日; Web.
4. 坂井宏平, 東 真弓, 文野誠久, 青井重善, 古川泰三, 田尻達郎: 当院における小児外科医と医療的ケア児(者)との関わり【パネルディスカッション; 医療の狭間を作らない; トランジション医療や医療児ケアの在り方】. 第58回日本小児外科学会学術集会, 2021年5月1日; 神奈川 (ハイブリッド).

5. 文野誠久, 古川泰三, 青井重善, 金 聖和, 高山勝平, 杉山庸一郎, 平野 滋, 打谷円香, 田尻達郎: 頸部リンパ管奇形に対する積極的外科切除と集学的治療による新たな治療戦略【シンポジウム; 頭頸部リンパ管腫の診断と治療】. 第 16 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会, 2021 年 7 月 9 日; 大阪.
6. 文野誠久, 高木大輔, 高山勝平, 金 聖和, 青井重善, 古川泰三, 宮地 充, 家原知子, 相部則博, 田尻達郎: 小児におけるネスキープを用いた被ばく低減外科治療の提案【シンポジウム; 体内空間可変治療(スペース留置治療)の現状】. 日本放射線腫瘍学会第 34 回学術大会, 2021 年 11 月 14 日; Web.
7. 長野心太, 文野誠久, 廣畑吉昭, 高山勝平, 金 聖和, 東 真弓, 青井重善, 古川泰三, 岸田綱郎, 松田 修, 田尻達郎: biosheet と direct reprogramming による誘導筋芽細胞による骨格筋シートの開発～腹壁欠損モデルマウスを用いて～【シンポジウム; 泌尿器・多能性幹細胞】. 第 37 回日本小児外科学会秋季シンポジウム, 2021 年 10 月 30 日; 東京 (ハイブリッド).
8. 青井重善, 古川泰三, 坂井宏平, 東 真弓, 文野誠久, 田尻達郎: 小児外科専門医不在・不足地域での小児外科医療 地方病院との連携・京都府の場合【シンポジウム; 小児外科専門医不在・不足地域での小児外科医療】. 第 83 回日本臨床外科学会総会, 2021 年 11 月 20 日; Web.
9. 青井重善, 金 聖和, 古川泰三, 文野誠久, 高山勝平, 東 真弓, 田尻達郎: 当施設における直腸肛門奇形治療・慢性期管理の要点と問題点【ディベート; 直腸肛門奇形術後の排泄管理～私はこうやって管理している～】. 第 83 回日本臨床外科学会総会, 2021 年 11 月 20 日; Web.
10. 坂井宏平, 東 真弓, 文野誠久, 青井重善, 古川泰三, 田尻達郎: 当院における医療的ケア児(者)のトランジションの実際【パネルディスカッション; 小児外科疾患のトランジションの今後】. 第 83 回日本臨床外科学会総会, 2021 年 11 月 19 日; Web.
11. 本郷文弥, 上田 崇, 大橋宗洋, 山田剛司, 白石 匠, 牛嶋 壮, 宮下浩明, 瀧本篤朗, 田尻達郎: 大動静脈間のパラグングリオーマに対する腹腔鏡手術の適応と限界【ワークショップ; 高難度の腹腔鏡下副腎摘除・後腹膜腫瘍摘除-困難例へのコツと対応-】. 第 34 回日本内視鏡外科学会総会, 2021 年 12 月 2 日; 神戸.
12. Iguchi M, Maniwa J, Kambe K, Higashi M, Fumino S, Aoi S, Furukawa T, Yagyū S, Mazda O, Tajiri T: 抗 GD2 抗体発現遺伝子を導入した間葉系幹細胞による神経芽腫新規細胞免疫療法の開発-in vitro 結果【優秀演題セッション】. 第 63 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2021 年 11 月 25 日-12 月 17 日; Web.

Ⅲ) 国際学会における一般発表

1. Fumino S, Furukawa T, Aoi S, Higashi M, Kim K, Takayma S, Tajiri T: Usefulness of navigation surgery for pediatric neoplastic diseases. The 53rd Annual Congress of the International Society of Paediatric Oncology (SIOP), 2021 Oct 21-24; Web.
2. Takemoto M, Tanaka M, Tsuji R, Togashi Y, Higashi M, Fumino S, Tajiri T: The synergistic anti-tumor effect of combination therapy with a MEK inhibitor and YAP inhibitor on pERK-positive neuroblastoma. 54th Pacific Association of Pediatric Surgeons (PAPS), 2021 Nov 14-18; Web.

E 研究助成（競争的研究助成金）

総額 2226 万円

公的助成

代表（総額）・小計 920 万円

1. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（B）令和元年～4 年度
「神経芽腫モデルマウスを用いた GD2 抗体発現間葉系幹細胞による新規細胞免疫療法開発」助成金額 320 万円
2. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C）2019～2021 年度
「MRFs 導入筋細胞分化と生体内組織形成技術による機能的骨格筋シートの開発」助成金額 110 万円
3. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C）令和 2～4 年度
「胆道閉鎖症の肝外胆管における異常免疫とその増強因子の解析」助成金額 90 万円
4. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C）令和 2～4 年度
「間葉系幹細胞由来エクソソーム羊水腔投与による横隔膜ヘルニアに対する胎児治療の開発」助成金額 90 万円
5. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C）令和 2～4 年度
「転移性神経芽腫シンジェニックマウスモデルによる外科治療戦略の最適化研究」助成金額 110 万円
6. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C）令和 2～4 年度
「進行神経芽腫に対する MEK 阻害剤の臨床応用に向けた耐性メカニズム探索」助成金額 90 万円

7. 文部科学省科学研究費補助金研究活動スタート支援 令和2～3年度
「横隔膜ヘルニア中動物モデルを用いたエクソソーム気管内投与による新規胎児治療の開発」助成金額 110万円

分担・小計 1016万円

1. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (B) 2019～2022年度
「骨軟部肉腫、小児悪性腫瘍に対する新規・体内空間可変粒子線治療の開発」助成金額 30万円
2. 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患等克服研究事業 令和2～4年度
「難治性小児消化器疾患の医療水準向上および移行期・成人期のQOL向上に関する研究」助成金額 60万円
3. 厚生労働省科学研究費補助金がん政策研究事業 令和2～4年度
「小児がん拠点病院等及び成人診療科との連携による長期フォローアップ体制構築のための研究」助成金額 20万円
4. 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業 2019～2021年度
「小児期・移行期を含む包括的対応を要する希少難治性肝胆膵疾患の調査研究」助成金額 15万円
5. AMED 革新的がん医療実用化研究事業 令和2～4年度
「小児胎児性固形がんに対する標準的治療法開発」助成金額 180万円
6. AMED 難治性疾患実用化研究事業 令和3～4年度
「シロリムス（顆粒剤・錠剤）による難治性の脈管腫瘍・脈管奇形に対する分子標的治療法を開発する研究」助成金額 341万円
7. AMED 臨床研究・治験推進研究事業 2019～2022年度
「小児・AYA がんに対する国内開発の EZH1/2 阻害剤の臨床開発（医師主導治験）」助成金額 50万円
8. AMED 革新的がん医療実用化研究事業 令和元年～3年度
「転移性ハイリスク神経芽腫に対する KIR リガンド不一致同種臍帯血移植によるがん免疫療法の標準化を目的とした多施設前向き臨床研究」助成金額 120万円
9. AMED 臨床研究・治験推進研究事業 令和3年度
「小児・AYA 世代がんのシスプラチン投与による内耳毒性軽減のためのチオ硫酸ナトリウムの有効性試験の構築」助成金額 200万円

財団等からの助成

代表（総額）・小計 90 万円

1. ゴールドリボン・ネットワーク治療研究助成金 令和 3～4 年度
「高リスク群神経芽腫に対する MARK pathway および Hippo pathway 阻害剤による synergy 効果の検証」助成金額 60 万円
2. がんの子どもを守る会治療研究助成 令和 3～4 年度
「神経芽腫に対する遺伝子組換え GD2 抗体発現間葉系幹細胞による新規細胞療法の開発」助成金額 30 万円

分担・小計 200 万円

1. 国立がん研究センター研究開発費 2019～2022 年度
「小児がんに対する個別化医療導入に関する研究」助成金額 200 万円